

人形劇 「協働でいざゆるよ」

NPO法人 いわきNPOセンター

登場人物

ニワトリの戸坂

うつくしま市 自然保護課 戸坂（とさか） 主査

（男性。「NPOに委託すれば協働」、「NPOは安い下請」と思っている市職員。）

ネコの三家

うつくしま市 市民協働推進課 三家（みけ） 主査

（女性。市とNPOとの協働推進担当課の市職員。全体をまとめていくが、真の協働までたどり着かない現状にもどかしさを感じている。）

ウサギの稲葉

NPO法人うつくしま森を守る会代表 稲葉（いなば）さん

（女性。熱い思いを持ち、現状のバランス感覚が優れているNPO活動実践者。行政との協働事業なども経験しており、行政内の状況もよく理解している。）

野ネズミの忠太郎

NPO法人自然体験塾代表 野山忠太郎（のやまちゅうたろう）さん

（男性。自分達は正しいとやや一方的な考え方に走ってしまうNPO活動実践者。過去の経験で行政に対して不信感を持っている。）

クマの熊田

うつくしまの森自治会長 熊田さん

（男性。森の自治会長を務めているが、NPO側からのアプローチもなかったせいか地域で活動しているNPOは全く知らない。また、何か地域で問題が起きたときは、とりあえず行政に要望すれば何とかかなると思っている。）

時

ある日

所

うつくしまの森の公民館

はじめに

ニワトリの戸坂主査

（ケッコー、ケッコー、コケッコー、皆さんこんにちは、うつくしま市の職員をしております戸坂です。今日は、ちょっと怒りっぽい役を演じておりますが、本当は仕事熱心な戸坂さんで、言われているんですよ。誤解しないで下さいね。）

ウサギの稲葉

（こんにちは、NPO活動をしている稲葉です。時々張り切り過ぎて言われます。今日は、みなさんの意見をよく聞きながらお話しする役です。宜しくお願います。）

★

― ナレーション① ―

ここは、うつくしま森の公民館です。
森に住む動物たちが集まって、何やら話をして
います。どんな内容なのか、耳をすまして聞いて
見ましょう。

◆

― 第一幕 ―

戸坂主査

皆さん、こんにちは。今日は、お天気もコケッ
コーですね。本日は、うつくしま森の公民館に
お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。
ございます。

さて最近うつくしまの森の希少植物「コラボ」
の花の盗掘が増えております。またもう一つの
問題として、うつくしま森へのゴミの不法投棄
が増えている現状があります。

このままでは、森のシンボル「コラボ」の花が
なくなってしまうし、森そのものもゴミで
溢れかえってしまいます。うつくしま市として
は、「コラボ」の花を守り、ゴミの不法投棄を防
ぎたいと考えております。

(一同、うなづく)

そこで皆さんのお知恵を是非、拝借して対策を
考えたいのです。

では、まず自己紹介から始めましょう。私は、
うつくしま市自然保護課の戸坂と申します。

三家主査

続きまして、私は、うつくしま市市民協働推進
課の三家と申します。NPOさんとうつくしま
市の協働推進をサポートする担当です。
よろしくおにやがあいします。

稲葉

皆さま、こんにちは。私は、NPO法人うつく
しま森を守る会代表の稲葉です。

野山忠太郎

オイらあ、NPO法人自然体験塾代表の野山忠
太郎だべさ。

熊田

こんにちは。うつくしまの森自治会長の熊田で
す。合唱クラブもやっています。
特技は、歌うことです。

♪ あくる 晴れた日♪ シツレイ。

戸坂主査	<p>では、私からご説明します。</p> <p>今まで、私たち自然保護課と森林管理事務所、森のパトロールを行ってきました。</p> <p>しかし、「コラボ」の花の盗掘は減りません。ゴミも増えるばかり。</p> <p>そこで、皆さんのご協力を是非あおぎたい。つまりですな、地元住民や地域のNPOの皆さんによるパトロール活動が良いのではないかと・・・。</p> <p>さらに、これは申し上げにくいのですが、市の財政は日に日に悪化。できれば、ボランティアでやっていたきたいのですが・・・。</p> <p>(しばしの間)</p> <p>そういつた活動は、本来、行政側でやるものでしょう？僕たち地元住民に押し付けて、しかも費用を出さないなんて・・・。</p>
野山忠太郎	<p>オイらあ、NPOは毎日毎日、子ネズミら相手にボランティアで自然学校をやってたんだ。</p> <p>NPOは忙しいんだよ!!</p> <p>そんなにヒマねえべ、まったく役所はこれだ。</p>
稲葉	<p>(しばし考えていたウサギがピョンと飛び出て)</p> <p>その仕事、私たち「うつくしま森を守る会」が引き受けましょう。</p> <p>私たちは、市との協働で委託業務をしたこともありますしー。</p> <p>でも、最低限の費用。例えばガソリン代、昼食代、スタッフの経費くらいは負担していただだけませんか？</p>
戸坂主査	<p>いやあ。それは、ありがたい。ケツコーな申し出です。</p> <p>おっしゃる費用、なんとか市で負担するような方向で考えましょう。</p> <p>その程度でしたら財政課に相談しなくても、少なからず予算があるかもしれません。</p> <p>稲葉さん方のNPO法人に、随意契約でピョピョーンとお願いしたい。</p>
三家主査	<p>では、「うつくしま森を守る会」にパトロールをお願いするという事で、お二方よろしいですね!!</p>

戸坂主査

稲葉さん、私どもが具体的な企画や仕様書は考えておきますね。
予算確保したら連絡しますから、後で見積書を出して下さい。あとは契約だけです。
いやあ、「NPOと行政との協働」で地域の問題解決ですな。
めでたい、めでたい。一件落着!!
皆さん、お手を拝借。

はー、こけこ、こけこ、こけこつこ。

★
――ナレーション②――

どうやら稲葉さんにパトロールを委託し、一件落着で会議は閉められるようです。でも、稲葉さんは何か納得いかないようです。みんなに、あらためて疑問を投げかける見たいです。どんなことなのか、良く聞いて見ましょう。

◆
――第二幕――

稲葉
うーん、何かおかしいよねー。パトロールは受託したけど、本当に協働するためNPOとして何か考えなければならぬと思うんですが…。

野山忠太郎

そうだよ、これって本当に協働なの？
単なる下請けと、ちつとも変わらない気がするけれどなあ。

三家さん、協働ってのはいったい何なんだべえ。

三家主査

「協働」とは、行政とNPOが互いの力をだしあつて、対等な立場で共に問題解決のために働くことです。

稲葉

そうすると仕様書とか何か全部作られちゃうと、お金は貰えてもNPOに丸投げでこれが協働なのって思いますよ。

三家主査

市もNPOをお願いして済むわけではないので、行政として何をしなければならないのかにや？

戸坂主査

難しいこと言わないで、NPOにまかせちゃえば良いんだよ。それでいいんじゃないの。

委託の仕事は協働といえるのか？

熊田	あのー、僕たち住民もここにいるんですけどー。	
稲葉	三家さん、「協働」とは、行政とNPOが互いの力を出しあつてと言つてましたが、その仕組みをつくるにはどうしたらいいんでしょうねー。	
三家主査	私が考える協働というのは、NPOと行政が一緒に考えたり汗を流したり、例えば共催とか実行委員会とかをつくったりして何かに取り組むことが大事だと思うんですけど…。	
野山忠太郎	じゃ、今回はそうなってるの？	
熊田	そうそう、僕らもその実行委員つてのになれるの？	
三家主査	そうですねー稲葉さん、協働に市民も参加しやすい方法を一緒に考えてくれないかじゃあ。	
稲葉	そうですね。住民が入れるような実行委員会や、関心のある他のNPOが参加できる仕組みを作ると、委託の仕事以上に、もつともつといるんなことが出来るんですいねー。	
三家主査	そうですね、みなさん。そこに気付けば委託の仕事だつて、協働になつてゆくんですにあ。	
戸坂主査	うーん、でもなかなかそこが難しいんだよ!!	協働を阻害しているのは何か？
★	<p>ーナレーション③ー</p> <p>どうやら、みんなの本音が結構でて来ましたね。協働することで、委託の仕事以上の効果が出せるつて言っておりますが、果してうまく行くのでしょうか？ さてさて、続きを見てみましょう。</p>	
◆ 野山忠太郎	<p>ー第三幕ー</p> <p>森を守つてゆくには役所だけに任せないで、みんなでやればいいんだべえ。</p>	

熊田

そうだなあ。
森を守るため「コラボ」を守るためには、僕たち住民も参加しないといけないのかなー。僕たちにも、セ・キ・二・ンがあるってことかー。

三家主査

私も「協働」って言いながら、行政側は、全て内容を決めてNPO法人におまかせ。
NPO法人も、自分のやりたい活動だけやって、市民からどんどん離れていく。
地域に根ざしているようで、本当は自己満足のようなどころもあるなーって思っていました。

戸坂主査

でも、NPOに任せれば安く出来て、そのぶん税金も抑えられるし、ケツコーじゃないですかー。

熊田

確かに行政に任せておけばしっかり管理もしてくれるから、安心なだけどねえ。

三家主査

いろんな考え方もあるけど、みんなが本当に参加できる、協働を実現するための仕組みを作らないとならないのはわかったですよねえ。

稲葉

うーん、でもその仕組みだけじゃだめですよね…。

野山忠太郎

なんだかんだ言っていないで、実際に森を見ないと分かんないんじゃないの？

稲葉

そうですね。

今、話題になっている森に行ってみましょうよ。

三家主査

じゃ、みんなで行ってみましょう!!

★

— ナレーション④ —

うつくしま森の公民館を後にして、みんなが森の中へ入って行きました。共催とか実行委員会とか協働についての考え方を、それぞれ言っておりますが、森の中で一体どう進展するのか？ これから先は会場の皆さんが、それぞれの立場で考えて見て下さい。これで人形劇「協働でござるよ」を終了致します。ありがとうございました。

— 幕 —

協働を進めるには何が必要なのか？